

紙上公共施設見学会 「関宿あおぞら広場」

市の最北端近くに位置する「関宿あおぞら広場」は、約7千800平方メートルの広さを有し、バーベキューやテントを張ったキャンプ、グラウンド・ゴルフなどが、すべて無料で楽しむことができ、市民の憩いの広場です。

旧関宿小学校跡地と旧関宿北部幼稚園の建物を活用して、平成19年4月にオープンした広場

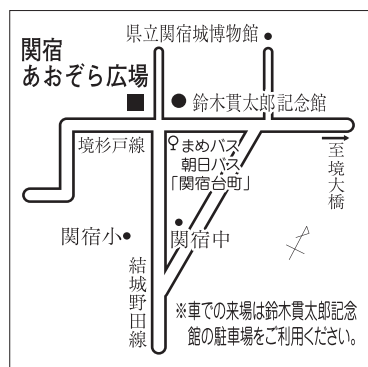
には、水飲み場やトイレを備えた多目的広場と、炊事場を設けた体験広場、会議や宿泊もできる2つの大部屋(約36畳)を持つ体験棟を整備し、さらには障害



キャンプファイヤーもできます

者用の駐車場やスロープなどを用意しています。

また、キャンプ道具などの無料貸し出しも行っていることから、子ども会やボーイスカウト、また市内外からの家族連れなど、昨年度は、延べ5千500人の方にご利用いただきました。



広場(通年利用可)や体験棟(月、年末年始を除く)の予約は、利用日の90日前(市外在住の方は60日前)から5日前までに、青少年課か鈴木貫太郎記念館☎7196-0102(9時~17時、月休館)へお申し込みください。

市民訪問

喫茶店で 障害者との交流を

鈴木 逸子さん



北コミュニティ会館に、今年3月開店した「四つ葉のクローバー」は、野田市障がい者団体連絡会が運営し、障害のある方が就労を目指して訓練を行っているインターネットカフェです。

現在、地域活動支援センター「つばさ」の通所者4人が注文や配膳を、同センターの指導員6人が交代で厨房を担当し、毎週土曜日(11時~14時)に営業しています。

精神保健福祉士の鈴木逸子さんも、指導員の一人です。

「通所者のみんなは、土曜日を

心待ちにしています。お客さんが、温かく話しかけてくれるのがうれしいようです。いきいきと働いている姿を見てもうらえれば、障害に対する理解を深めていただけると思います」と鈴木さん。

「将来は、ボランティアなどを募って、毎日オープンしたいですね。2台のパソコンも用意し、ご自由にインターネットも楽しめますので、ぜひコーヒーを飲みに来てください」と結びました。

地域活動支援センター「つばさ」指導員 岡田在住・昭和32年生まれ

トピックス

観察会や苗木配布など みどりに親しんで

自然を大切にする心を育てていこうと、市民のボランティアで作る「みどりのふるさとづくり実行委員会」では、4月29日、清水公園



親子で廃材を利用したおもちゃづくりも

で「みどりのふるさとづくりフェスタ2009」を開催した。

当日は約4千200人の家族連れなどが訪れ、苗木や花苗をもらったり、野鳥・野草・樹木の観察会に参加するなど、思い思いに楽しんでいた。

目指せ、将来の名人 「子どもの部」では連覇達成も

関根金次郎名人の偉業をたたえ、5月4、5日に県立関宿城博物館で「関宿城将棋大会」が開催された。2日間で、子どもから大人まで125



白熱した大会は11回目を迎えました

人が参加し、「絶妙な一手」が繰り出されると、周りからは感嘆の声も。熱戦を勝ち抜いて、「子どもの部」では高橋正太郎さん(船橋市)が連覇を、「大人の部」では美馬和夫さん(牛久市)が優勝を飾った。